

# 邇摩高校アンバサダー事業

## 福祉系列 3 年生が中学校で出前授業実施

江津中学校（江津市）にて9月15日（木）、16日（金）の2日間、「邇摩高校アンバサダー事業」の一環として「体験活動の出張講座」を実施しました。この講座は本校生徒が先生となり、中学校に向いて体験授業を行うものです。今回は本校福祉系列3年生が江津市社会福祉協議会のご協力を頂きながら江津中学校の1年生の皆さんへ高齢者疑似体験、車いす体験を行いました。



中学生へ事前の説明をする和上さん（写真左、車いす体験）、河野さん（写真右、高齢者疑似体験）

### 1日目 高齢者疑似体験

高齢者疑似体験では、まず前半に本校生徒が中学生に高齢者の身体の特徴や体験用装具の説明を行い、その後体験役と介助役に分かれて視野狭窄（視野が狭まること）や、関節の拘縮（関節が動かしくくなること）を体験する装具などを身に着けて、自分たちが普段何気なく送っている日常生活が高齢者にとってどれくらい大変なものであるかを体験しました。中学生の皆さんは普段と違う感覚に戸惑いながら校内を巡りました。



見えやすい標識はどちらでしょう？

### 2日目 車いす体験

翌日の車いす体験では、本校生徒が車いすの準備や移動の際の注意点、坂道や段差で



横断歩道では気を付けて！

の移動方法などを指導し、実際に中学校近くの路上に出て体験を行いました。初めて車いすに乗る中学生もおり、緊張感のある体験になりました。

### 福祉の楽しさを 知ることが できました



高校生の皆さん、ありがとうございました！

2日間の体験を終えて、江津中学校の皆さんはいずれの体験でも「普段とは違う感覚で大変だった」、「年を取ったらこんな生活をするのは辛い」といった感想でしたが、なかには「街中でも同じ状況の人がいたら助けてあげたい」、「

「自分のおじいさん、おばあさんをもっと労わってあげたいです」という感想を述べた中学生もおり、福祉の喜び、楽しさを感じてもらったことができた体験となりました。

### 良い経験になりました

今回のアンバサダー事業は3年生にとっても実りあるものになったようで、「はじめは中学生にうまく教えられるか不安でしたが1回説明をしたらすぐに理解して行動していてびっくりしました。」、「アンバサダー事業を通じて自分たちのやっている授業を改めて見直せた良い機会になりました。」、「質問も積極的にしてきてくれて、今回の体験で少しでも福祉に興味を持ってくれたらうれしいです。」という感想がありました。



# 邇摩高校アンバサダー事業

詳細については本校ホームページ <http://www.shimanet.ed.jp/nima/ambassador/> をご覧下さい